

研究ノート

葬儀に関するアンケート結果の一考察

中 村 龍 央

北陸教区では平成二十三年十一月十七日に『北陸における現代葬儀事情・福井を中心に』というテーマで開催されました。

開催に当たって、会議資料とする為に葬儀に関するアンケートを実施しました。このアンケートは平成二十二年度に山梨県第一部教化センターが行ったアンケートを利用して頂きました。

アンケート結果を福井の現状を元に考えてみたいと思います。

問一 葬儀は何処で執行しますか？

複数回答ですが、ほぼホールで行っているのがわかります。

十年ほど前までは、集会場、寺院、自宅でしたが、自宅がまず無くなり、葬儀社の葬祭場が増えてきて、寺院がなくなり、集会場がなくなってきました。その頃は村部ではまだ集会場や寺院、道場などでしたが六年ほど前から、十キロ以上離れていても葬祭場を利用するようになり、自宅近くから葬祭場まではバスを用意しています。通夜が始まると直ぐに焼香が始まりバスで来た人たちは焼香が終わると着座することなくバスに乗って帰ってしまいます。勝山

市では、葬祭場になる以前は通夜に他宗の僧侶が読経しました。参列者は六時から七時半頃までにやってきて一人の僧侶のお経を最初から最後まで聞いて帰ります。大体十分から十五分位で、うちの檀家などは何時頃に私がお通夜に行くか問い合わせるまでその時間に合やす人もいました。その後菩提寺の通夜になりました。葬祭場になってからは菩提寺以外の読経がほとんど無くなり、特に懇意にしている寺院は四時半ころから五時半までに伺って読経します。この時間では親族のごく一部の方しか居ません。一度五時半過ぎに行って読経したら参列者がほとんど帰ってしまつて菩提寺の住職が葬儀社に苦情を言ったそうです。

問二 葬儀の額について基準を設定していますか

設定している人が三割強です。公益法人としては請求することは問題となりますが、実際喪家は昔と違ってお布施の金額が解らない人が多いようで、こちら側が教えなくても葬儀社に問い合わせる、葬儀社は宗派毎の料金表を用意しています。福井市では仏教会が葬儀社に対して意見書を出したので料金表はないことになっていますが、現実には存在しています。自坊では以前は直前にあつた葬儀のお布施の包みを見せると施主が家柄を考慮して持つてきました。しかし、二十年ほど前からは提示するようになりました。

ある寺院では百万円の永代経を持つてきたところ突つ返したといったこともありました。

問三 通夜・葬儀の時に法話を行っていますか

通夜では八割近く、初七日では約半数です。法号の説明や、故人のはなし、死・葬儀に関する法話が多いようです。檀信徒の話などをききますと、通夜の時は十分が限度でそれを超えると内容をほとんど覚えていないそうです。初七日の時には忌日に関する話が喜ばれるようです。

問四 僧侶の人数について基準はありますか

問五 その基準は

問六 葬儀の式衆の人数については近年変化がありますか

問七 現在の式衆の人数は妥当だと思いますか

設定しているが四割です。施主の意向が三割、住職が二割となっています。

福井では、二十年前までは一導師四役が標準でした。それに対して施主が協導師を希望するというのが一般的でした。歎徳を読むことを希望する檀家も多かったです。また、呼ぶ僧侶を施主が指名することも多かったです。お嫁さんの実家の菩提寺であったり、つきあいのある寺院であったりします。その後一導師二役が標準となり、近年では導師単独も増えてきました。私は今年五軒ありましたが、三軒がそうでした。また二軒の内一軒は総代のお母さんでしたが、一導師二役でした。先代の時には三導師六役でした。因みに今でも福井県中部宗務所管内では三導師四役が一般的です。

開棺、茶湯、霊膳の所作や葬儀の式次第を考えると一導師四役最低限必要だと思います。

問八 引導のほかに歎徳に類する儀礼はありますか

あるが四割弱。以前は歎徳がありましたが、最近協導師をたてないので単独ではないが、引導文の中で取り入れている方もいます。私はお寺に貢献したり、信仰熱心な方の時は入れるようにしています。

問十一 葬儀社・ホールで葬儀が行われて変化したことはありませんか

葬儀の時間に変化と僧侶の人数に変化がありますが、福井に於いては葬儀の時間はホールになる前から短くな

っていましたし葬儀の内容、人数も同じ。布施の額にも変化は無いと思います。

問十二 檀家の中で葬儀をしない家がありましたか

葬儀をしないが二割もあります。福井県では聞いたことがありません。都会ではあるようですので、首都圏からも時間的に近い新潟県でその影響を受けているのでしょうか。

問十三 檀家の中で別の僧侶が葬儀を行い埋葬のみを依頼するというケースはありましたか

あるが約半数にもなりません。

問十四 その場合どうするか

もう一度葬儀を行うと、その他2割強、直ぐに埋葬が4割強あります。もう一度行うは、葬儀をしていないか、他宗で行った場合でしょうか。直ぐには遠方の檀家か？

問十五 遠方の檀家の葬儀はどのように

住職が出向くが七十五%になります。今まで疎遠だった遠方の檀家が葬儀に赴くことにより親密になったとの報告もあります。

問十六 火葬場には遺族と共に行き、収骨まで回向を行いますか

火入れ四割強、収骨四割、行かない一割強。福井北部では式衆が火入れまでいて、骨上げには同席しません。棺を

竈へ収めた後、料理屋最近は葬祭場が多いが、火葬場以外の場所でお斎を行うため再度火葬場へは赴かない。

問十七 葬儀と告別式は別に行っていますか

行わない九割。葬儀と告別式の区別が不明

問十八 葬儀の意義、法号の意味について檀信徒に説明していますか

必ずしている六割弱、するときもある三割、聞かれれば一割と多くの方が説明しています。

問十九 葬儀の意義、法号の意味について檀信徒は理解していますか

理解していると思うが六割強

法号の説明をして葬儀の意義を説明することによって、葬儀の大切さが理解してもらえると考えられます。

問二〇 お経、お題目を一緒に唱えてもらうよう案内している

六割の方が案内しているが、北陸教区特に富山県、石川県、福井県は真宗が大変多い地域であり実際に唱えてもらうことは難しい。

問二四 葬儀社とのトラブルの経験はありますか

八割がないと答えているが、葬儀社もマニュアルを完備しているし、会場が葬祭場になり葬儀が形式化しているためにトラブルが起きにくいと考えられます。

問二六 将来葬儀がなくなるか

なくなると思わない九割弱もおられます。都会では直葬と言われ葬儀を行わない事が多くなってきており、檀家が地元を離れることが多くなってきたことを考えると葬儀を行わない檀家も多くなると思われるが、葬儀そのものは無くならないからとの回答と考えられます。

まとめ

今回のアンケートから次のように考えられる

葬儀が簡略化して、出座する僧侶の人数が減ってきており、寺院の収入の減少にも繋がっている。都会では直葬が増えていくが、地方に於いてもその兆しが見えてきている。アンケートでは葬儀はなくなるといいう意見が多いが、一導師四役から二役に減ったときは短期間であったし、導師単独も近年増えているので、直葬が主流になる可能性もある。

布施の額を提示することは公益法人としては問題があるが、檀家の要請で提示しており、提示しない場合でも葬儀社が価格表を作成している場合がある。

私も布施の額を檀家の希望により提示しているが、式衆のお布施に対しての不満は一割くらいあるが、これは親戚からの意見の場合が多い。北陸教区は真宗が多く、導師以外はほとんどが役僧（住職にはなれない）であり布施の額が少ない為である。新聞の投書等で寺院に支払う葬儀の費用が高すぎると書かれている。

以前は先祖を守ってもらうのだから檀家で寺院を維持するという考え方であった。しかし、寺院は一種の経済活動であり寺院の維持（負担）は檀家がするのでは無く、住職が個人商店の様に経営を行うものだと考え、布施も法務への対価と捉え時間換算して高額すぎると考えられている。三離れを引き起こしたのではないだろうか。

資料 1

2 2. 葬祭場での葬儀でもっとも困ったことは何ですか？

- ・ まわらないハチを用意された
- ・ 都会ではその場所に合わせる為、分からない事だらけ
- ・ 日蓮宗用の祭壇が用意されていない、真宗王国の為か
- ・ 常にご本尊を携帯するようにしているが、式場に用意されていないときに忘れたときは困惑した
- ・ 葬儀屋が葬儀（仏具）を軽視している
- ・ ご本尊を持って行くようにするが、セレモニーの人が手荒に扱う事
- ・ 仏具がなかったこと（複数回答）
- ・ スリッパに困っている
- ・ 骨上げまでの間に法要と直会をしてしまうところがある
- ・ 司会とのタイミングが合わない
- ・ 祭壇の作り方の違い
- ・ 参列者の多く、時間が来ても延々と焼香が続き出棺できなかった事
- ・ 葬儀社の誘導が著しい時の折り合い
- ・ 時間の制限
- ・ 担当者が日蓮宗の葬儀内容（やり方）を全く知らなかった
- ・ 室温
- ・ 清めの塩
- ・ 布施の事。遺族が布施の金額を葬祭場に伺い、住職の期待より遙かに少額の時
- ・ 従業員の教育がなっていない事
- ・ 日程を勝手に喪主と決めてしまう
- ・ 備品（法具）の不備
- ・ 忘れ物
- ・ ご本尊が小さい（形式のみ）
- ・ 便利だけど人々と情愛が薄い
- ・ 宗教界の常識における葬祭スタッフの知識が乏しい

23. 葬儀式の中で、最も気をつけていることは何ですか？

- ・ 正しく霊山へ向かえるように
- ・ 順序を間違えないこと
- ・ 大きな声を出すこと
- ・ 引導の唱え方（複数回答）
- ・ 静寂の中で行いたい
- ・ 引導の意味を伝える（複数回答）
- ・ 会葬者に気持ちを込めて頂くように指導している
- ・ 真宗王国にあつて本宗の見せ場（教訣）と思い、念を込めて執行する
- ・ 進行上、葬儀社のままにならないようにする
- ・ 遺族の気持ちをくむこと
- ・ 時間厳守、他宗の事は言わない
- ・ 僧侶としてしっかりと送ってあげることと、家族のケアにも対処していくようにしている
- ・ 故人に対して引導を渡すとき厳粛に行う事
- ・ 遺族、親族が心残りが無い様、故人との最後の時間をとれるようにする事
- ・ 一期一会
- ・ 厳粛でスムーズな進行
- ・ 歎徳、引導、その他僧侶の立ち振る舞い等
- ・ 故人への弔いの気持ちを持つ
- ・ 亡き人を霊山へお送りする為の大切な儀式の場である事
- ・ 気持ちを込めて亡き人への思いを家族に伝える
- ・ 厳粛な雰囲気作り（複数回答）
- ・ 最もお弔いらしい葬儀を皆さんと共に行っています
- ・ 葬儀社のペースに流されない
- ・ 相手の気持ちを考える
- ・ 衣帯、姿勢。檀信徒にこの寺の檀家で良かったと思ってもらいたい
- ・ 初心を忘れずに
- ・ 死者の一生
- ・ リズムを壊さない事
- ・ 命に対する尊厳と、葬儀式に対する荘厳さを遺族に対する配慮を忘れない事
- ・ 故人の成仏、遺族の安心（あんじん）、この二つを絶対の目的として営む事
- ・ 儀式の中に如何に親族、ホール全体を引き込む事ができるか
- ・ 引導文の中で歎徳部分を分かり易く作成し読み聞かせる事
- ・ 時間内で、きちんと終わる事
- ・ 時間の調整（読経、お別れ、出棺）

- ・ 葬儀の意義を説明、参加してもらえるように
- ・ 敬虔な葬儀、遺族への思いやり
- ・ 式を大事にしていく
- ・ 歎徳を必ず書き入れ、よく聞かせる
- ・ 厳粛なうちにも遺族が参加しているという事を意識を持って死者を霊山へ送るように務める
- ・ 言葉をはっきりと言う
- ・ 相手の立場になって考える事（お坊さんといっても目上の見方をしない）
- ・ わかりやすく、大きな声
- ・ 作法
- ・ 大切な儀式である事を認識してもらうように配慮している。一人でも多くの人にお題目をお唱えして頂いている。
- ・ 心に残る、感動的な満足
- ・ 僧侶同士の会話で笑い声が聞こえないようにしている
- ・ 誠意ある対応と、儀式の荘厳と丁寧な供養
- ・ 静粛に
- ・ 妙法経力 即身成仏と帰寂精霊に伝える事
- ・ 戒名、引導に気をつける
- ・ 仏様を必ず成仏させるという気持を持って手を合わせる事。あまり時間に対し意識しないようする
- ・ 一生に一度であるが故、日蓮宗の特徴を大きく出すようにしている
- ・ 法要に集中して頂けるよう、解りやすい引導文を読んでいる
- ・ 故人はもとより、遺族、参列者に葬儀の厳粛さを、強いては仏教に少しでも近づいてくれるような葬儀になるように、特に引導文、回向等、教義からずれないように心がけながら分かり易いものにしていく事など
- ・ 故人の俗名、戒名等に言い間違いがないように
- ・ 緊張感と静粛さを保つこと
- ・ 引導文授与の時
- ・ 通夜ではなるべく、お経やお題目を唱えてもらう

25. 葬儀社とのトラブルの経験があるとお答えの方、その内容を差し支えない程度でお書き下さい。

- ・ 職員が談笑していたのでしかりつけた
- ・ 業者の都合で時間を制限された
- ・ ご本尊を折った
- ・ こちらの都合を聞かないで葬儀の日取りを喪主と勝手に決めた事（複数回答）
- ・ 勝手に遺族と決める
- ・ おもに地域的な儀式があるので、お水替え、講中の歌題目等
- ・ 時間の取り方
- ・ 時間（お経を〇〇分をお願いしますと言われたが現実的に無理であった事）
- ・ 引上げ、初七日、35日法要の準備がしてなかった
- ・ 葬儀社が主導を握りたがり、施主にすり寄る（規模・布施にまで）
- ・ 葬儀社に先導される傾向に対する反発
- ・ 葬儀社で布施の内容を決められるのは困る
- ・ 司会者が眠っていた
- ・ 従業員の教育
- ・ 紹介された葬儀で学会の人がいた
- ・ 全てのスケジュールを葬儀社が決めてしまったことに対し憤慨した事
- ・ 通夜の時間と進行

27. 葬儀は今後どのように変化したいと思いますか？

- ・ 簡素化する（複数回答）
- ・ 信行に心がむかなくなり葬儀もはなれていく
- ・ 役僧がなくなるのではないだろうか
- ・ さらに家族、身内など近親者だけで行うようになると思う（複数回答）
- ・ 直葬、個人葬、収骨は寺院分祀となる
- ・ 家族葬が多くなり人との絆が薄れそう
- ・ 家族葬が増える傾向にある（複数回答）
- ・ 小規模になっていくと思う
- ・ 経費が安くなるセレモニーができたとすれば、人はそっちの方へ、葬儀をしたい人も出てくると思う
- ・ 縁者の参列者が少なくなると思う、葬儀のあり方がそのものが変化しつつある
- ・ 高額な費用をかけず、身内で済ませるケースが増える
- ・ 時代に沿って
- ・ 僧侶がどのように変化するかによる
- ・ 家族そうなるものをよく判っていない
- ・ 時間的に短いのを希望する人が多くなるが、今のままの進め方では1時間は必要
- ・ 家族葬、直葬
- ・ 祭壇の演出法が変わるのではないかと思う
- ・ 本来の霊也を霊山へお送りする事を主眼にした葬儀が行われる
- ・ こじんまり
- ・ 縮小すると思う
- ・ 葬儀をやらない檀家が増えてくると思う
- ・ 家族葬、友人葬等が増えると思う
- ・ 僧侶の葬儀に対する取り組み方で葬儀が変わってしまう
- ・ ますます、小規模化していくでしょう田舎にあっても僧侶が呼ばれない時代がいつ来てもおかしくない状況にきています
- ・ ご遺族の気持ちをより濃く反映したお金のかからないやり方にシフトすると思う
- ・ 自分勝手な、簡略化した葬儀
- ・ 僧侶は菩提寺一人で行うようになると思う
- ・ 選択肢が増え、しない人から簡略にしたもの等が増えるだろう
- ・ 僧侶が意義（信仰）説明を怠れば必要の無いセレモニーとなる
- ・ 略式化が一層進み無知がはびこる
- ・ 今の形ではなくなると思う。故人の遺志が尊重され、それが形に反映される。僧侶を多く招待する形はなくなるのでは、僧侶を呼ばないケースも出てくるのではないかと懸念される

- ・ 家族層のように小さくなっていく
- ・ お別れ会程度で、僧侶なしで行う傾向になる
- ・ 社葬など大規模な葬儀は減少し、親族、家族、近隣者での葬儀が多くなる
- ・ 今の檀家体制が少しずつ崩れていくと思う。その為自分の自宅の宗教での葬儀に対してのこだわりがなくなり、費用がかからない寺に移る（もうそうなっている）
- ・ 真剣になる
- ・ 形式化して簡素化します
- ・ 僧侶が葬儀社に対して説明を十分にしてしっかり対応して行かないと葬儀社にとって都合の良い葬儀が広まると思う
- ・ 直葬に変化すると思う
- ・ 引導文など、もう少し解りやすい（一般の人に）言葉遣いに…
- ・ 経済的、無宗教的な直葬、また友人葬、家族葬
- ・ お経のない葬儀は情けなく淋しい
- ・ これまで以上の変化はないだろう
- ・ 密葬（家族葬）が増える。お別れ開放式が増える
- ・ 簡略化、短時間
- ・ 質素に、また簡略になっていき、納骨のみになるかもしれません
- ・ 一般的には減少と思うが、住職、教師の言行動によって布教のあり方によって中身のある葬儀が行われるようになる、葬式仏教からの離脱
- ・ 無しが多くなる
- ・ 簡略化。形骸化。高齢化に伴う悲しみの減少
- ・ 更に簡略化したものになっていくと思うが、逆にシンプルで純粋な葬儀になっていく、していかなければならない
- ・ 都会の流れで、直葬や家族葬が増える

28. 『無縁社会』という現象が注目されていることに興味はありますか？

- ・ ある（多数）
- ・ 田舎に於いても確実にその現象がある
- ・ お互いに死を悼み亡き人が迷わずに霊山浄土へ行けるように、共に善根を積む行為が薄らいできているから
- ・ 無縁社会の原因を作ったのは首都圏の大寺院
- ・ 興味ない
- ・ このような設問はおかしい。興味の無い人が居ればその人は僧侶ではないからです
- ・ 全てではないが、自業自得も多いのでは
- ・ それを是とせず、教化に力を入れるべき
- ・ 無縁社会という現象に興味ではなく憂慮している。地方でもこの現象がみられる。無縁社会が無縁仏を作り、その救済に供養塔等が建てられているが対処療法でない方策はないものだろうか
- ・ 実子が居るのに故人の友人より葬儀依頼され万霊塔に納骨
- ・ おまいりされない、墓が目立ってきている
- ・ 自分だけが幸せであればいいとする考えの結果。興味ある、なしにかかわらず必然的な事であり、直ぐにでも対応を考えて行かなければ行けないと思う
- ・ 当寺院では永代納骨、供養を実施しているが自分の家の寺院があっても、こちらを希望する人が年々多くなってきており、興味というより考えて行かないといけない現象だと思う
- ・ 遠方の檀家とのコミュニケーションを考える
- ・ 設問の「興味」という言葉は不適切と思う、少なくとも「関心」又は「どう思いますか？」の記述と思う。また無縁は結果であって、その手前の切縁か絶縁が問題なのだから、表現を変えて対処法を考えるべき
- ・ 家族の絆が薄れ、寺離れが進むと思うので関心あり
- ・ 伝統仏教の伝え方を反省、実習すべし
- ・ 近年特に、親子、家族、親戚、地域社会との絆が薄い
- ・ 無縁社会にならないように一人暮らしの方にはできるだけ声をかける姿勢を持つようにしている
- ・ 無縁などありえない
- ・ ないことはないが、これも今までの行為からこのような社会になったと思うべき
- ・ 家族葬、少ない人数の葬儀が増える為近所づきあいや親戚づきあいが減るでしょう

第28回北陸教化研究会議 葬儀に関するアンケートの集計

集約数

135

回収率約:40.9%

1. 葬儀は主に何処で執行しますか(複数回答可)

- | | | | |
|---|-----|-------|-----|
| ① | 20 | 14.8% | 自坊 |
| ② | 36 | 26.7% | 自宅 |
| ③ | 124 | 91.9% | ホール |
| ④ | 3 | 2.2% | その他 |
| | 0 | 0.0% | 無回答 |

2. 葬儀の額について基準を設定していますか

- | | | | |
|---|----|-------|---------|
| ① | 44 | 32.6% | 設定している |
| ② | 90 | 66.7% | 設定していない |
| | 1 | 0.7% | 無回答 |

3. 通夜・葬儀の時に法話を行っていますか(複数回答)

- | | | | |
|---|-----|-------|--------|
| ① | 105 | 77.8% | 通夜の時 |
| ② | 18 | 13.3% | 葬儀の時 |
| ③ | 70 | 51.9% | 初七日の時 |
| ④ | 14 | 10.4% | 行っていない |
| | 0 | 0.0% | 無回答 |

4. 葬儀の僧侶の人数について基準はありますか?

- | | | | |
|---|----|-------|---------|
| ① | 53 | 39.3% | 設定している |
| ② | 81 | 60.0% | 設定していない |
| | 1 | 0.7% | 無回答 |

5. 4であるとお答えの方、その基準は(複数回答)

- | | | | |
|---|----|-------|-----------|
| ① | 6 | 11.3% | 法号の階位によって |
| ② | 26 | 49.1% | 住職の意向 |
| ③ | 41 | 77.4% | 施主の意向 |
| ④ | 1 | 1.9% | 葬儀社の意向 |
| ⑤ | 6 | 11.3% | その他 |

6. 葬儀の式宗の人数について近年変化がありますか?

- | | | | |
|---|-----|-------|-------|
| ① | 102 | 75.6% | 変化がある |
| ② | 33 | 24.4% | 変化はない |
| | 0 | 0.0% | 無回答 |

7. 現在の式宗の人数は妥当だと思いますか?

- | | | | |
|---|----|-------|----------|
| ① | 84 | 62.2% | 妥当だと思う |
| ② | 41 | 30.4% | 妥当だと思わない |
| | 10 | 7.4% | 無回答 |

8. 引導のほかに嘆徳に類する儀礼はありますか?

- | | | | |
|---|----|-------|-----|
| ① | 51 | 37.8% | ある |
| ② | 81 | 60.0% | なし |
| | 3 | 2.2% | 無回答 |

11. 葬儀社・ホールで葬儀が行われて変化したことはありますか(複数回答可)

- | | | | |
|---|----|-------|-------|
| ① | 20 | 14.8% | 布施の額 |
| ② | 37 | 27.4% | 僧侶の人数 |
| ③ | 49 | 36.3% | 葬儀の時間 |
| ④ | 26 | 19.3% | 葬儀の内容 |
| ⑤ | 44 | 32.6% | 変化なし |
| ⑥ | 6 | 4.4% | その他 |
| | 10 | 7.4% | 無回答 |

12. 檀家の中で葬儀をしない家がありましたか?

- | | | | |
|---|-----|-------|-----|
| ① | 29 | 21.5% | ある |
| ② | 104 | 77.0% | なし |
| | 2 | 1.5% | 無回答 |

13. 檀家の中で別の僧侶が葬儀を行い埋葬のみを依頼するというケースはありましたか?

- | | | | |
|---|----|-------|-----|
| ① | 51 | 37.8% | ある |
| ② | 16 | 11.9% | 昔ある |
| ③ | 66 | 48.9% | ない |
| | 2 | 1.5% | 無回答 |

14. 13であるとお答えの方に、その場合どうされていますか?

- | | | | |
|---|----|-------|-----------|
| ① | 16 | 23.9% | もう一度葬儀を行う |
| ② | 26 | 38.8% | 直ぐに埋葬する |
| ③ | 4 | 6.0% | 埋葬拒否 |
| ④ | 16 | 23.9% | その他 |

15. 遠方の檀家の葬儀はどのように対応していますか?

- | | | | |
|---|-----|-------|-------------|
| ① | 102 | 75.6% | 住職が出向 |
| ② | 18 | 13.3% | 知り合いの寺院に依頼す |
| ③ | 3 | 2.2% | 葬儀社に任せる |
| ④ | 6 | 4.4% | その他 |
| | 6 | 4.4% | 無回答 |

16. 火葬場には遺族と共に行き、収骨まで回向を行いますか?

- | | | | |
|---|----|-------|-----------|
| ① | 58 | 43.0% | 火入れまでして帰る |
| ② | 53 | 39.3% | 収骨まで回向する |
| ③ | 20 | 14.8% | 火葬場には行かない |
| | 4 | 3.0% | 無回答 |

17. 葬儀と告別式は別に行っていますか?

- | | | | |
|---|-----|-------|------|
| ① | 8 | 5.9% | 行う |
| ② | 121 | 89.6% | 行わない |
| | 6 | 4.4% | 無回答 |

18. 葬儀の意義、法号の意味について檀信徒に説明していますか?

- | | | | |
|---|----|-------|---------|
| ① | 76 | 56.3% | 必ずしている |
| ② | 36 | 26.7% | するときもある |
| ③ | 14 | 10.4% | 聞かれればする |
| ④ | 5 | 3.7% | していない |
| | 4 | 3.0% | 無回答 |

19. 葬儀の意義、法号の意味について檀信徒は理解していますか?

- | | | | |
|---|----|-------|------|
| ① | 88 | 65.2% | 思う |
| ② | 37 | 27.4% | 思わない |
| | 10 | 7.4% | 無回答 |

20. お経、もしくはお題目を一緒に唱えてもらうよう案内していますか?

- | | | | |
|---|----|-------|-------|
| ① | 87 | 64.4% | している |
| ② | 42 | 31.1% | していない |
| | 6 | 4.4% | 無回答 |

24. 葬儀社とのトラブルの経験はありますか?

- | | | | |
|---|-----|-------|-----|
| ① | 21 | 15.6% | ある |
| ② | 108 | 80.0% | ない |
| | 6 | 4.4% | 無回答 |

26. 将来、葬儀がなくなるとお思いますか?

- | | | | |
|---|-----|-------|---------|
| ① | 12 | 8.9% | なくなると思う |
| ② | 117 | 86.7% | 思わない |
| | 6 | 4.4% | 無回答 |